

第九十回帝國議會 臨時通貨法の一部を改正する法律案外一件委員會議錄(速記)第三回

付託議案

臨時通貨法の一部を改正する法律案
(政府提出)

軍人及び軍屬以外の者に交付された
賜金庫債券を無効とするに關
する法律案(政府提出)

昭和二十一年七月三日(水曜日)午前十
時三十八分開議

出席委員

委員長代理 荒船清十郎君
理事 八木太治君 松永 義雄君
小野 眞次君 圓谷 光衛君
山田 善三君 坪川 信三君
中山 たま君 川島 金次君
田村 定一君 坪井 龜藏君
和崎 ハル君 伊藤 恭一君

出席國務大臣

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

大藏事務次官 上塚 司君
大藏事務官 池田 勇人君
大藏事務官 楠田 光男君
大藏事務官 江澤 省三君

本日ノ會議ニ付シタ議案

臨時通貨法の一部を改正する法律案
(政府提出)

軍人及び軍屬以外の者に交付された
賜金庫債券を無効とするに關
する法律案(政府提出)

○荒船委員長代理 是ヨリ開會致シマ
ス、通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマ
ス——坪井君

○坪井委員 臨時通貨法ノ第二條ニ於

キマシテ「臨時補助貨幣ノ種類ハ十
錢、五錢及一錢ノ三種トス」トアリマ
ス、一錢ト云フモノハ今マデノ調ベニ
依リマスレバ相當額ニナツテ居リマ
スガ、現在ノ此ノ狀況ニ於テハ、果シ
テ之ガ物ノ對象、貨幣價值ト言ヒマス
カ、是ハ殆ドナイヤウニ思ハレル、

隨テ一錢ト云フモノハ廢シタラドウ
カ、ソレニ加フルニ第三條ニ「十錢及
五錢ノ臨時補助貨幣ハ五圓迄、一錢ノ
臨時補助貨幣ハ一圓迄ヲ限リ法貨トシ
テ通用ス」、私ノ考ヘデハ茲ニ一錢ヲ
廢メテ、第二條ノ中ニ十錢ノ上ニ五十
錢或ハ一圓、之ヲ加ヘテ改正シテ行ク
必要ハナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデ
アリマス、尙又昨日御伺ヒ致シマスル
ト、五十錢ノ貨幣約三億圓ニ達スル、
ソレニ要スル眞鍮ノ數量ハ約二千「ト
ン」ト伺ヒマシタガ、斯ウシタ非常ニ
凡ル物資ノ不足シテ居ル時デアリマ
ス、利便ノ點カラ見テモドウシテモ是
ガ必要デアリ、尙又之ヲ造ルト云フコ
トデアルナラバ、此ノ新タニ發行スル
通貨ノ形式ニ於キマシテ、五十錢ノ量
目ハ四、五「グラム」デアツテハ二「キ
ロ」要ルト云フ場合ニ於テハ、之ヲ
努メテ私ハ半減致シマシテ、二、二五
「グラム」ニシテ薄クシタルカ、形ヲ小
サクシ、或ハ之ニ孔ヲ明ケルト云フコ
トニ致シマシテ、量目ガ減ツタカラ形
ガ半分ニナルノダト云フコトデアリマ
シテ、工夫ヲ凝シテ之ヲ半分デヤレルモ
ノカドウカ、ヤレルナラバサウ願フ
云フコトガ實材不足ノ時ニ宜イデハナ
イカ、ソレヲ先ツ御伺ヒ致シタイト思

ヒマス

尙又サウシマスト、眞ニソレガ出來
ルトシタナラバ、ソコニ「一「トン」ト
云フモノガ餘ツテ來ル、此ノ「一「ト
ン」ニ依ツテ一圓貨幣ヲ造ル、此ノ改
正ガ出來ルカドウカト云フコトヲ御尋
ネ致シタイト思ヒマス

尙又一圓ヲ使ハヌデモ宜シイト云フ
コトデアルナラバ、此ノ餘ツタ素材ヲ
他ノ國家再建ニ必要ナル諸產業ノ方面ノ
素材ニ之ヲ振向ケルト云フコトニスレ
バ、一石二鳥ニモナル、斯ウ考ヘテ居
リマス、先ツ此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ
ト思ヒマス

○楠田政府委員 只今色々ナ點ニ互リ
マシテ御尋ネガゴザイマシタ「一ツ」
申上ゲテ見タイト思ヒマス

第一ニ此ノ現在ノ臨時通貨法第二條
ニ書イテアリマス「一錢ト云フノハ殆ド
ニ書イテアリカ、第二條カラ一錢ト云
フモノヲ削ツテシマツテ、一錢ヲ廢シ
タラドウカト云フ御質問デゴザイマ
ス、御承知ノヤウニ一錢ト云フモノハ
最近効用價值ガ減ツテ參ツテ居リマス
コトハ御指摘ノ通りデアラウト存ジマ
ス、唯依然トシテ若干ノ効用ハマダ殘
ツテ居ルカト存ジマス、マア隣組ノ配
給ナドデモヤハリ端數方出テ參ツタリ
スルヤウナコトモアリノデアリマシ
テ、現ニ一錢其ノモノガ相當ノ流通ヲ
見テ居リマスルコトモ事實デアリマ
ス、唯今後ノ鑄造計畫ヲ致シマシテ
ハ、此ノ一錢ハ暫ク鑄造ヲ止メマシ
テ、今後ハ新ラシクハ造ツテ行カナイ
ヤウナ積リデ本年度ノ鑄造計畫ヲ作ツ

テ居リマス、唯此ノ第二條カラ一錢ヲ
廢メズスト、今マデ現ニ國民ノ手許ニ
ゴザイマスル一錢ガ只ノモノニ相成ツ
テシマヒマスノデ、茲ニ一錢ト云フモ
ノヲ殘シテ置キマシテ、是ハヤハリ通
貨トシテ効力ガアルノダト云フコトニ
シマモストイケナイノデアリマシカト
思ヒマス、又ソレヲ集メマシテ五
錢ナリ、十錢ナリ、或ハ一圓ナリト取
替ヘル、斯ウ云フコトヲヤツタラ宜イ
ノデアリマシカト云フ御尋ネガ重ネテア
ルカト思ヒマスルガ、ヤハリ是ハ相當
ノ手數ノ掛ルコトデモアリマスノデ、
今強ヒテソレダケノコトヲシナグトモ
宜イノデアリマシカ、尙ホ若干ノ効用ガ
存シマスル限リニ於テハ、現ニ流通シ
テ居リマスルモノハ其ノ儘認メテ置イ
テ一向差支ヘナイノデアリマシカト、マ
アコンナ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイ
マス

更ニ第二點ハ第二條ノ十錢ノ上ニ五
十錢、出來レバ一圓ト云フ風ナモノヲ
加ヘタラドウデアラウカ、斯ウ云フ御
尋ネデゴザイマス、今回ノ改正案ハ第
二條ト致シマシテ「臨時補助貨幣ノ種
類ハ十錢、五錢及一錢ノ三種トス」ト
アリマスノ「臨時補助貨幣ノ種類ハ
五十錢、十錢、五錢及一錢ノ四種ト
ス」ト云フ風ニ御改正ヲ御願ヒ致シタ
イト思ヒマシテ提案致シテ居ル次第デ
ゴザイマス、尙ホ一圓ヲ之ニ加ヘマス
コトハ多少問題ガ變ツテ參リマシテ、
御承知ノヤウニ日本ノ通貨ノ單位ハ圓
ガ中心ニ相成ツテ居リマス、マア圓本
位トデモ申シマスカ、圓ガ單位トナツ

テ居ルノデアリマス、此ノ臨時通貨法
ハ詰リ補助貨幣、少額紙幣、圓未滿ノ
通貨ノ補助貨ニ付テ規定シタル法文
デアリマス、茲ニ一圓ト云フコトヲ入
レマスノハ其ノ必要ガナイノデアリマ
シカ、尤モソレハ日本銀行法中ノ日本銀
行券ノ所ニゴザイマス、ノミナラズモ
ウ一ツハ貨幣法ノ方ニハツキリト書イ
テアル、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ル
譯デアリマス

第三點トシテ、五十錢ノ四、五「グ
ラム」ト云フノモツト小サクシテ、
出來レバ二、二五「グラム」位ニ半減シ
テ、ソレデ以テ素材ヲ浮カシタラドウ
カト云フ御質問デゴザイマス、洵ニ御
尤モト思フノデゴザイマスガ、此處デ
昨日私ガ申上ゲマシタコトヲ此ノ機會
ニ訂正サシテ戴キタイト思ヒマス、昨
日一寸計算ヲ違ヘマシテ大變間違ツタ
コトヲ申上ゲマシテ、失禮致シマシタ
ノデ、御詫ビ旁々聊カ訂正サシテ戴キ
タイト思ヒマス、今度新タニ鑄造致シ
マス五十錢及一錢ハ黃銅即チ眞鍮ヲ
使フノデアリマスガ、本年度ノ製造計
畫ハ五十錢ガ三億二千五百萬圓、十錢
ニ於キマシテハ一千四百萬圓デアリマ
シテ、其ノ所要量ハ全體約三千九百
「トン」昨日申シマシタ數字ノ大體倍ニ
ナリマス、非常ニ相濟ミマセズデス
ガ、此ノ際御詫ビ申上ゲマス、此ノ眞鍮
ハ終戦後軍カラ放出致サレマシタ眞鍮
用ノ眞鍮ヲ用ヒマスノデアリマシテ、
現ニ造幣局ニ於キマシテハ約三千五百
「トン」程持ツテ居リマス、此ノ眞鍮ハ
御承知ノヤウニ銅ト距離トカラ出來テ

居リマシテ、大體銅ガ六割乃至七割、
亜鉛ガ四割乃至三割入ッテ居リマス、
必ズシモ一定シテ居ラヌノデアリマ
ス、之ヲ銅ト亜鉛トニ手數ヲ掛ケテ吹
キ直シマシテ分析致シマスレバ兎モ角
デアリマスガ、ソレハ非常ニ又手數ノ
掛ルコトデモアラウト開イテ居リマ
ス、現物其ノモノ、眞鍮其ノモノトシ
テ用途ハ色々ゴザイマセウト思ヒマ
ス、クレドモ、現在眞鍮全體ノ國內「スト
ック」ノ總量ノ正確ナコトハマダ分
テ居ラナイヤウデアリマスルガ、兎モ
角モ商工省ガ中心トナリマシテ、此ノ
眞鍮ニ付キマシテ各産業關係其ノ他ニ
互リマシテ綜合ナ需給計畫ヲ立テ、
居ルノデゴザイマシテ、其ノ結果ト致
シマシテ、昨年ノ秋以來約三千五百
「トン」ノ割當ヲ受ケマシテ、造船局ガ
ソレヲ土臺ニ致シマシテ、本年ノ計畫
ヲ進メテ居ルヤウナ次第デゴザイマ
ス、全體ト致シマシテ、他ノ産業ノ關
係、需給ノ關係等ハ、商工省ヲ中心ト
シテ能ク觀望合セテ戴イテ居ルト云フ
風ニ私共ハ了承ヲ致シテ居ル次第デ
ザイマス、一言附ケ加ヘサセテ戴イ
タ次第デゴザイマス

ガ、之ヲ小サクシマスル場合、其ノ薄
サノ加減ト云ツタヤウナコトガ、例
ハ鑄造ヲ致シマス場合ニ壓延スル、押
抜ク譯デゴザイマス、其ノ時ノ素材ノ
脆サノ關係トカ色々ナ關係ガゴザイ
マシテ、手際良ク貨幣ガ出來マスニハ大
體下ノ位ノ大キサト厚サトヲ必要トス
ルカ、又他ノ貨幣トノ區別ノ狀況等カ
ラ言ヒマシテ、直徑等ニ付キマシテハ
色々ナ段階ヲ設ケネバナリマセヌ、元
ノ一錢デアリマスルトカ、或ハ他ノ小
額ノモノト大キサガ同ジニナルヤウ
ナ、銅貨ト開通ヤウナコトニ相成リ
マシテモ困ルヤウナ次第デアリマス
デ、ソコ等邊ノコトモ考慮ニ入レマシ
テ、斯ウ云ツタヤウナ技術的ナ、又流
通ノ便、不便ト云ツタヤウナコトモ考
ヘマシテ、實ハ二三・五「ミリメー
トル」ノ直徑、四・五「グラム」位ノ所ガ一
等適當デハナイカ、サウ云フ風ナ諸論
ヲ技術家ノ各専門ノ方面カラノ意見ガ
アリマシタノデ、今斯ウ云フ風ニ決メ
テ居ル次第ナデアリマス、尙ホ穿孔
ト云フ、孔ヲ開ケルト云フ御話デゴザ
イマシタガ、是モ亦私専門家デハゴザ
イマセヌケレドモ、孔ヲ開ケマスニハ
ソレデケ手間ガ掛カリマスニ加ヘマシ
テ、更ニ素材ノ關係等カラ、出來、不
出來ガアリマスノミナラズ、或ハ物ニ
依リマシテハ鑄カスルヤウナ場合モゴ
ザイマス、ソコ等邊ノ工合デ、單ニ壓
延、打抜キマスヨリハ、更ニソレニ孔
ヲ開ケルト云フコトガ技術上尙ホ困難
ナ點ガアルヤウニ聞イテ居リマス
デ、穿孔ト云フコトハ、出來ルダケ避
ケタイ、サウ云フ風ナ専門家ノ意見ノ
ヤウデアッタト記憶致シテ居リマス、
大體サウ云フ風ナ工合デ、只今御手許
ニ御配リシテアリマス形式等ノ要綱ニ

書イテアリマスヤウナコトガ、一應豫
定セラレテ居ルヤウナ次第デゴザイ
マス、御諒承願ヒタイト思フノデアリ
マス
尙ホ之ニ附ケ加ヘマシテ第四ノ點ト
致シマシテ、一圓ノ貨幣ヲ同ジク素材
ヲ有效ニ使フコトニ依ッテ眞鍮鑄造
ヲ行ツタラドウダ、斯ウ云フ御尋ネデ
ゴザイマシタ、此ノ一圓ノ貨幣ヲ造リ
マスト云フコトハ、一等最初ニ申シ上
ゲマシタ、詰リ圓ト云フモノヲ表示ス
ル硬貨ヲ造ルト云フ問題ニ相成リマス
ルト、是ハ貨幣法ノ問題ニナリマシ
テ、或ハ本位制度ノ問題デアリマス
カ、色々ナ現在ノ複雑ナ國際經濟社
會、國際經濟ノ情勢下ニ於キマシテ
ハ、未ダ假カニ決定シ難イ問題ニ關
テ居リマス、一時ワドウスルト云フコ
トニ相成リマシテ、決メラレナイ問題
ヲ此ノ際別ナ形デ出スルコト云フ風ナコト
ニ相成リマスノデ、一圓ノ貨幣ヲ眞鍮
鑄造スルト云フコトハ、私共トシテ
ハ只今ノ所考ヘテ居ナイ譯デゴザイ
マス、御諒承願ヒタイト存ズル次第
デアリマス

○坪井委員 只今ノ御答辯デ、大體當
局ノ御意見ハ能ク分リマシタガ、我々
カラ見マス、ドウセ茲ニ改正ヲ必要
トスルト云フコトニナレバ、根本解決
ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、其ノ
點ニ付テ貨幣法ノ改正ヲスルコトガ必
要ダトアルナラバ、是ハ「マツカ
ー」ノ方ヘ御願ヒシテソレヲスルコ
トガ宜イデヤナイカ、唯考ヘテ居ラナ
イ、全く此ノ財物ハ國家國民トシテ常
ニ之ヲ融通シヨウト云フノニ、又一面
便不便ト云フコトヲ考ヘテ居ラレル
ガ、造ル時ハ一遍デアルト思フ、之ヲ
使用スルモノハ是ガアル限り殆ド國家

國民全體ガ之ニ依ッテ便不便ヲ感ズル
ト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソコデ五
十錢ニ孔ヲ開ケルコトガ技術上云々ト
云フナラバ、アノ小額ノ五錢十錢ニナ
ゼ今マデ穴ヲ開ケテ居ツタカ、尙又今
後モ開ケル意思アリヤ、五倍、十倍ス
ル價值ノアル五十錢ノ貨幣ナドニ、孔
ニ手數ヲ言フナラバ、ナセサウ云フ牙
屑ヲ取除カヌカ、斯ウ考ヘラレルノデ
アリマス、私共トシテハ貨幣法ハ
變ヘテモ是ハサウスルコトガ當然ダト
思フ、昨日ノ御答辯カラ見マシテモ、
ドウモ紙デハ磨滅シテ使用ハ一時的デ
アッテ殆ド國民モ不便シテ居ル、尙又
資材ノ紙ノナイ時ニ造ルト云フコトハ
大變ダ、印刷モ大變ダト云フコトヲ言
ハレマシタガ、斯ウ云フ實質問題カラ
政府當局ハ眞劍ニ是ハ考ヘテ行クベキ
茲ニ法ノ改正ヲスルト云フ場合ニ於テ
ハ、改正當時ノ手續ノ便不便ト云フコ
トハ是ハ何デモナイコトデアアル、斯ウ
私ハ考ヘルノデアリマス、尙又今マデ
ノ五十錢程度デアッテモ、是ハ目方ガ
重クテ持廻リニ相當不便ヲ感ジテ居
ル、私ハ是ハ半分ニシテモ必ズシモ使
用ニ耐ヘナイト云フコトハ考ヘラレマ
セヌ、唯技術屋ガ其ノ方ガ見榮エガ宜
イトカ、或ハ耐久力ガアルトカ云ツタ
ヤウナ、唯サウシテ技術專門デ之ヲ致
シテ、假令棄策其ノ他ノ終戦後ニ出テ
來タモノガアルト云ツテモ、徒ラニ之
ヲ無益ニ使フコト云フコトハ此ノ際慎
ムベキダト考ヘマシテ、先程モ御尋ネ
テマシタ、尙又今後モ政府當局ニ何處マ
デモ此ノ法ハ變ヘテモ一圓ノ銀貨ヲ造ル
意思ハナイカ、サウシテ一旦造ツタナラ
バ是ハ小額ノ紙幣トハ違ツテ、紙幣ヨ
リカ耐久力ノアルモノニ當然ナル譯デ

アリマス、政府ニ於テモ今同ハ臨時デ
アルト云ツテ居ラマス、結局小額ノ
紙幣ハ一年間後ニハ發行セヌ、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居ラレルヤウニ私ハ考ヘ
テ居リマスガ、結局將來斯ウシテ貨幣
ニ依ッテ之ヲ造ルト云フコトハ茲ニ一
ツノ基本ヲ示スモノデアリマス、前例
ガ斯ウダカラ又ソレニ依ツタモノデ將
來ヤッテ行クコト云フ舊態依然トシタコ
トデアッテ行クコトハ、此ノ際大イニ
慎重ナケレバナラヌト、斯様ニ考ヘテ
居リマス、比ノ點ニ付テ尙ホ御所見ヲ
伺ヒタイト存ジマス

○楠田政府委員 重ネテ御尋ネガゴザ
イマシタ、將來ノ貨幣制度ヲドウスル
カト云フコト、將來ノ貨幣制度ヲド
ウスルカ、是ハ根本的ナ問題デアリマ
シテ、今遽カニ決定シ難イ狀況ニアル
ノダト私ハ存ジマス、是ハモウ各方面
ノ方々ノ十分ナ御研究ノ結果、ソレカ
ラ今後ニ於キマスル日本ノ經濟ノ再
建、ソレカラ國際經濟界ノ觀念、斯ウ
云ツタヤウナモノヲ十分ニ觀合セタ上
デナケレバ決メ得ナイモノカト存ジ
テ居リマスルノデ、只今ノ所デハ、貨
幣法ヲ出來ルダケ根本的ニ出來得
ル情勢デアリマスルナラバソレニ越シ
タコトハナイノデアリマセウケレド
モ、只今申上ゲマシタヤウナ考ヘカラ
致シマシテ、貨幣法ノ方ハ何等手ヲ觸
レマセズ、此ノ臨時通貨法ノ如ク五十
錢ノ硬貨ヲ新シク造ルト云フコトダケ
ヲ御願ヒ申上ゲルヤウナ次第ナデア
ザイマス

尙ホ穿孔ノ點ニ付キマシテ、過去ニ
於テ十錢、五錢ノ「ニッケル」質ニ對シ
テ孔ヲ開ケテ造ツタコトガゴザイマス
ガ、實ハ其ノ經驗カラ致シマシテ、穿

孔致シマスルコトが相當ノ技術的ニ色
色ナ難點アリマスルコトヲ經驗致シ
タヤウナ次第アリマス、出來マスナ
ラバ餘リ孔ヲ開ケルヤウナコトハヤ
クナク、サウ云フ風ナ工合ニ只今ノ
所ハ考ヘテ居ル次第アリマス、尙ホ
技術的ニ互ル點モアリマス、尙ホ
見ノ點ハ十分ニ了承致シタ次第デゴ
イマスカラ、今後十分其ノ點研究サ
テ戴キタイ、斯等ニ在ジテ居ル次第
アリマス

○坪井委員 尙ホ一ツ御尋ネシマ
スガ、先程誤シタ數字ノ訂正ガアリマ
シテ、二千「トン」ガ三千九百「トン」
ニ付テ三千五百「トン」今持ッ
テ居ル、ドナタデモ多イ所デソレ
ニ對スル滿ツルマデノ數字ナラバ出來
マスガ、アトマデ四百「トン」バカリ足
ラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、
サウ云フ御計畫ハ足ラヌデモヤラセル
ト云フ御方針デゴザイマスガ、出來
ルヤラセルト云フ御方針デゴザイマ
スカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○樺田政府委員 先程其ノ點ヲ申シ落
シマシテ恐縮デゴザイマスガ、此ノ第
二四半期ノ割當ニ於キマシテ商工省方
面ト色々話ヲ致シテ居リマスガ、大
體一千「トン」見當新タニ割當ガ戴ケル
ヤウナ情勢アル、斯様ニ存ジテ居
マスノデ、本年度計畫ノ三千九百「ト
ン」ニ付キマシテハ大丈夫資材ノ確保
ガ出來ル、斯ウ云フ工合ニ見込シテ居
ル次第アリマス、先程申シ落シマシ
テ大變恐縮デアリマス

○荒船委員長代理 只今池田主税局長
並ニ江澤銀行局長ガ御見エニナリマシ
タノ御質問ガアリマシタラドウゾ
田村君、
○田村委員 舊圖ノコトデアリマス

ガ、昨年ノ戰災ニ因ツテ政府ハ國民ガ
持ッテ居ル紙幣ヲ相當燒却シタと思フ
ノデアリマスガ、其ノ間今年ノ三月迄
ノ對鎖ニ依ツテ大體ノ見込シハ付イテ
居ルト思フノデアリマスガ、政府ハ其
ノ間一體幾ラ國民ノ持ッテ居ル紙幣ガ
燒失シテ居ツテ政府ノ利益ニナツテ居
ルカ云フ點ヲ明確ニ御答ヘシテ戴キ
タイノデアリマス

○江澤政府委員 今御話ガアリマシタ
點ニ付キマシテ御答ヘ致シマス、今度
ノ日本銀行券預入令ニ依リマシテ計算
シマス、未回収ノ分ガ三月末日デ四
十五億バカリニナツテ居リマス、其ノ
後交換ノ要求ガアリマシテボツ／＼細
カイ引換モアリマス、ソレカラ約十一
億圓程度ノモノガ朝鮮デ燒却サレタ
ト云フヤウナ關係デ、只今デハ國庫ニ納
付出來ル金額ハ大分減ツテ居ルト思
マス、一應三十億見當ノモノヲ國庫ニ
納付スルコトニ致シマシテ、此ノ後ノ
交換或ハ燒却、サウ云フ關係デ日銀ノ
負擔ニナルモノハ國庫カラ補償スル、
斯ウ云フ關係デ進ムコトニナルト存
ジテ居リマス

○田村委員 昨日モ御尋ネシタノデア
リマスガ、相當證紙ヲ添附シタノガ取
レテ國民ノ間ニモ可ナリ損ヲ見ル者ガ
マダ今日尙且ツアルノデアリマスガ、
是等ニ對シテ當局トシテハヤハリ何等
カノ形デ、今ノ説明デ行キマスト換
テ戴ケルヤウニ聽イタノデアリマス
ガ、ソレハヤハリ依然トシテ證紙ノ取
レタ分ニ對シテモ換ヘテ戴ケマスカ
ウデスカ

○江澤政府委員 證紙ガ取レマシタ分
ニ付キマシテハ、是ハ甚ダ御氣ノ毒ナ
事情ガアルト存ジマスガ、是ハ整理ノ
都合ガゴザイマスノデ、四月八日マデ

銀行預金ニ預入レルト云フコトヲ認メ
シテ、タレ以後特別事情ノナイ限り
受入レルコトハ成ベク差控ヘル、斯ウ
云フ方針ヲ執ツテ居リマス、現在ニ於
キマシテハ極ク例外ノ場合ノ外此ノ
預入レモ許サレナイト云フヤウナコ
トニナツテ居ル、是ハ個々ニ御伺ヒ致
シマスルト非常ニ氣ノ毒ナ場合ガ多
イノデアリマスガ、舊券整理ノ事情
デ餘リ使タト延バシテ置クコトモ出來
マセヌデ、斯ウ云フ位置ヲ執ツテ居
ルノデアリマス、其ノ邊ハ惡シカラズ御
諒承願ヒマス

○田村委員 四月八日マデニ預入レル
ト云フコトニナツテ居ルトノ今ノ御
答辯デアリマスガ、ソレハ從來色々
ナ事情ニ依ツテ預金シ得ナカッタモノ
ガ、四月八日マデノ期限ガアツタと思
フノデアリマスガ、其ノ後證紙ノ貼付
シタモノガ私ノ知ツテ居ル範圍デモ可
ナリ多ク無クナツテ居ルト思フノデア
リマス、サウシマスレバ新圖ヲ發行シ
テ其ノ證紙ノ貼ツテアル舊圖ヲ回收
ルマデハ、ヤハリ私ハ政府ノ責任デハ
ナイカト思フ、サウスレバ或ル一定ノ
新圖ヲ今年ノ九月デアリマスガ、全部回
收スルコトガ出來ルト云フヤウニ昨日
ノ御答辯ニ依リマシタガ、政府ハ其ノ
期限同時ニ證紙ノ取レタ部分ハ何等
カノ形ニ於テ辨償シナケレバナラナ
イ、ソレヲ當局トシテハ全然御考ヘニ
ナラナイ、唯氣ノ毒ナト云フ點デ放任
セラレルカ、或ハ何等カノ形式デ考
テ見ルカ、又考ヘルベキデアルト私ハ
考ヘルノデアリマス

○江澤政府委員 今ノ點ハ個々ノ場合
ニ付キマシテ其ノ間ノ事情ヲ能ク御伺
ヒ致シマシタ上デ、容ラレルモノニ
付キマシテハ、政府ト致シマシテモ十

分考慮致シタイト存ジテ居リマス
○荒船委員長代理 他ニ御質問ハアリ
マセスカ、坪井君
○坪井委員 昨日大藏大臣ニ伺ヒマス
ルト惡性「インフレ」ニナツテ居ル此
時、通貨ノ放出ヲ此ノ儘ニシテ置ク
コトハ——産業ノ振興ニ依ツテ所謂物
ノ増産ニ依ツテ「インフレ」ヲ防止スル
コトハナイト云フヤウニ言ハレテ居
マスルガ、私共ノ考ヘデ言ヒマスル
ト、今ノ現狀カラ見マシテドウシテモ
新圖ニ變更サレテカラコチラ資本家ガ
大キナ暗躍ノ下ニ新圖ヲ獲得ヲ行ヒ、
尙又多クハ閣下商人又ハ政府ノ方針ニ反
シタル所ノ行動ヲ取ル者ニ依リマシテ
新圖ガ獲得サレテ、全ク正道ヲ行ク者
ガ少クナツテ參リマシタ、何レモ窮蹙
ニアル現狀デアルコトハ既ニ御承知ノ
通りデアリマス、若シ今後之ヲ比ノ儘ニ
放任スル時ニハ正道ヲ行ク者ガ全ク馬
鹿ヲ見ルト云フヤウナ結論ニ到達シテ
來ルコトハ明カデアリマス、私ハ昨日
大藏大臣ニ通貨ノ膨脹ト「インフレ」ト
云フコトニ付テ質問ヲシテ、其ノ答辯
ニ依ツテハツキリシタノデアリマス
ガ、現在四百十二億圓以上モ放出サレ
テ居ルト云フ現狀デアリ、一般ノ者ハ
政府ヲ信頼セズニ殆ド預貯金ヲシナイ
ト云フコトニ相成ツテ居ル現狀カラ致
シテ、之ヲ此ノ儘放置スレバ益々膨脹
シテ、本年ノ暮アタリニ行キマスレバ
九百億圓以上ニモナラウト云ハレテ居
ルハモ聞イテ居リマス、隨テ之ニ依
ル國民生活ノ安定ヲ唱道サレテ居ル今
日、物價ハ日ニ「インフレ」ニ見舞
ハレテ昂騰シ、國民ノ生活ハ殆ド安定
ヲ缺キツ、アリマシテ、一層ノ不安ヲ

國民ハ感ジテ居ル狀態デアリマスガ、
政府ハ之ニ對シテ何等カノ統制或ハ處
置ヲ講ズベキデアルト考ヘテ居リマス
ガ、私共ノ考ヘトシテハ、モウ一度新
圖ニ切替ヘルコト以外ニハドウシテモ
此ノ惡性「インフレ」ヲ防止スルコトハ
出來得ナイ、他ノモウ一ツノ大キナ防
止ノ桿ハ平價ノ切下ゲヲ斷行スルコト
デアリマス、所謂新圖再封鎖ヲシナイ
ト云フナラバ、此ノ手以外ニ他ノ方法
ハナイ、隨テドウシテモ此ノ平價ノ切
下ゲヲスルダラウト云フコトモ想像サ
レテ居リマスガ、政府ト致シマシテ、
斯ウシタ方面ニ付テ其ノ用意又ハ之ヲ
斷行スル御意思アリヤ否ヤ、全ク此ノ
通貨ノ膨脹、之ニ伴フ惡性「インフレ」
「インフレーション」ト云フモノニ依リマシテ正直
者ガ馬鹿ヲ見テ、結局大資本家或ハ閣
下取リマシテ居ル者ガ横行スルコト云フ
コトニナレバ、民心ノ不安ハ是レ以上ノ
モノハナイト私ハ考ヘテ居リマス、之
ニ付テ一ツ御伺ヒヲ致シタイと思ヒマ
ス

大臣ハ午前中ハオ見エニナラヌト思
ヒマシタカラ伺ツテ居リマシタガ、今
オ見エニナリマシタカラ、モウ一度簡
單ニ此ノ點ヲ大臣ニ御伺ヒ致シタイ
昨日大臣閣下カラ私ノ質問ニ對シマシ
テ、再封鎖、所謂新圖切替ヘハヤル意
思ハナイト云フヤウニ伺ヒマシタガ、
物價ハ日ニ「惡性「インフレ」ニ見舞
ハレテ昂騰シ、政府ト致シマシテハ新
圖ニ依ツテ國民生活ノ安定ヲ得セシメ
之ヲ國民ニ理解セシメテ其ノ緒ニ就カ
セルト云フ御意思デアリニモ拘ラズ、
之ニ反シテ最近マデニ四百十二億圓以
上モ放出サレテ居リ、之ヲ尙ホ放置ス
レバ此ノ年末ニハ九百億圓以上ニモナル
ノデアナイカ、斯様ニ國民總テガ杞憂

大臣ハ午前中ハオ見エニナラヌト思
ヒマシタカラ伺ツテ居リマシタガ、今
オ見エニナリマシタカラ、モウ一度簡
單ニ此ノ點ヲ大臣ニ御伺ヒ致シタイ
昨日大臣閣下カラ私ノ質問ニ對シマシ
テ、再封鎖、所謂新圖切替ヘハヤル意
思ハナイト云フヤウニ伺ヒマシタガ、
物價ハ日ニ「惡性「インフレ」ニ見舞
ハレテ昂騰シ、政府ト致シマシテハ新
圖ニ依ツテ國民生活ノ安定ヲ得セシメ
之ヲ國民ニ理解セシメテ其ノ緒ニ就カ
セルト云フ御意思デアリニモ拘ラズ、
之ニ反シテ最近マデニ四百十二億圓以
上モ放出サレテ居リ、之ヲ尙ホ放置ス
レバ此ノ年末ニハ九百億圓以上ニモナル
ノデアナイカ、斯様ニ國民總テガ杞憂

大臣ハ午前中ハオ見エニナラヌト思
ヒマシタカラ伺ツテ居リマシタガ、今
オ見エニナリマシタカラ、モウ一度簡
單ニ此ノ點ヲ大臣ニ御伺ヒ致シタイ
昨日大臣閣下カラ私ノ質問ニ對シマシ
テ、再封鎖、所謂新圖切替ヘハヤル意
思ハナイト云フヤウニ伺ヒマシタガ、
物價ハ日ニ「惡性「インフレ」ニ見舞
ハレテ昂騰シ、政府ト致シマシテハ新
圖ニ依ツテ國民生活ノ安定ヲ得セシメ
之ヲ國民ニ理解セシメテ其ノ緒ニ就カ
セルト云フ御意思デアリニモ拘ラズ、
之ニ反シテ最近マデニ四百十二億圓以
上モ放出サレテ居リ、之ヲ尙ホ放置ス
レバ此ノ年末ニハ九百億圓以上ニモナル
ノデアナイカ、斯様ニ國民總テガ杞憂

大臣ハ午前中ハオ見エニナラヌト思
ヒマシタカラ伺ツテ居リマシタガ、今
オ見エニナリマシタカラ、モウ一度簡
單ニ此ノ點ヲ大臣ニ御伺ヒ致シタイ
昨日大臣閣下カラ私ノ質問ニ對シマシ
テ、再封鎖、所謂新圖切替ヘハヤル意
思ハナイト云フヤウニ伺ヒマシタガ、
物價ハ日ニ「惡性「インフレ」ニ見舞
ハレテ昂騰シ、政府ト致シマシテハ新
圖ニ依ツテ國民生活ノ安定ヲ得セシメ
之ヲ國民ニ理解セシメテ其ノ緒ニ就カ
セルト云フ御意思デアリニモ拘ラズ、
之ニ反シテ最近マデニ四百十二億圓以
上モ放出サレテ居リ、之ヲ尙ホ放置ス
レバ此ノ年末ニハ九百億圓以上ニモナル
ノデアナイカ、斯様ニ國民總テガ杞憂

ノ念ト生活ニ對スル不安ヲ抱イテ居ル
今日、大臣トシテハ再封鎖ヲスルト云
フコトハ考ヘテ居ラナイト言ハレマス
ガ、ソレデハ必ズ此ノ一大膨脹ニ依ッ
テ惡性インフレーション見舞ハレ、大資本
家或ハ關ヲヤル者ガ益々横行シテ、正
直者ガ馬鹿ヲ見ルト云フ結果ニナリハ
シナイカ、之ヲ防止スル手トシテ、平
價ノ切下ゲヲ斷行スルト云フコトヲシ
ナカッタラバ、到底茲ニ惡性インフ
レーションノ防止ヲスルコト云フコ
トハ出來得ナイト私共ハ信ジテ居リマ
スガ、政府トシテハ之ニ付テ平價ノ切
下ゲヲ斷行スル御意思アリヤ否ヤ、又
之ヲ行ハシメテ必ズ是ハ防ゲルモノダ
ト云フ御意思アリヤ否ヤ、他ニ方法ア
リヤ否ヤト云フコトニ付テ大藏大臣ノ
御答辯ヲ御覽ヒ致シマス

○石橋國務大臣 御答へ申上ゲマス、
昨日モ申シマシタヤウニ、新圓ヲ再封
鎖スルト云フコトハ、若シ假リニサウ
云フコトヲヤルトスレバ、此ノ儘デハ
結局又同ジコトヲ繰返スコトニナリマ
スノデ、モット根本的ニ、今ノヤウニ
新圓ガ唯出テ、ソレガ環流シテ來ナイ
ト云フ其ノ原因ニモツト「メス」ヲ入レ
テカラデアリマセスト、ソレヲヤラズ
ニ唯封鎖ヲシマシテモ同ジコトヲ繰返
スニ過ギナイ、唯人心ノ不安ヲ増スダ
ケダト思ヒマスカ、新圓ノ封鎖ハ斷ジ
テヤリマセズ、其ノ代リニア、云フ現
象ガ起リマセヌ、昨日モ申上ゲマシ
タヤウニ、アノ四百何億ノ通貨ガ全部
市場ニ流通シ居ルト見ナイノデアリ
マシテ、其ノ少カラザル部分ガ或ル部
分ニ退藏サレテ居ル、其ノ退藏サレテ
居ルト云フ所以ハ、一ツハ平常預金等
ヲ入ル習慣ガ比較的乏シカッタ部分ニ
通貨ガ入ッテ居ルト云フコトモ一ツデ

アリマスガ、モット根本的ニハ、全體
ノ經濟ノ政府ノ政策、若シハ全體ノ
前途ノ見通シニ付テ不安ガアルカラサ
ウ云フ現象ヲ生ズルト思ヒマスカラ、
其ノ點一ツ先ツ私ハ改メタイ、斯ウ
思ッテ居ル次第デアリマス

ソレカラ平價切下ト云フコトハ總戰
後屢々世間ニ言ハレマシタガ、多分御
言葉ノ平價切下ト云フノモ、例ヘバ百
圓ノ紙幣ヲ十圓ニ引下ゲルト云フ意味
ノコトデアラウト思ヒマスガ、ソレハ
ヤリマシテモ、唯百圓紙幣ノ額面ガ十
圓紙幣ノ額面ニ變ルト云フデケノコト
デアリマシテ、物ト通貨トノ關係ニ於
テハ同ジコトナシデアリマス、詰リド
ウシテモ増産ヲシテ物ノ方ヲ殖ヤシテ
行クト云フコトデナケレバ「インフレ」
ト云フモノハ止マラナイノデアリマシ
テ、切下ゲマシテモ唯額面ガ變シタダ
ケノコトデ、物ト貨幣トノ「パララシ」
ト云フコトニナレバヤハリ同ジト云フ
コトニナリマスノデ、是モ私ハヤル意
思ヲ持ッテ居リマセヌ、甚ダ簡單デア
リマスガ、ソレデケ御答へシテ置キマ
ス

○荒船委員長代理 申上ゲマス、大臣
ガ十一時三十分マデ居ラレルサウデア
リマスカラ、十分キリ時間ガアリマセ
ヌノデ簡單ニ御質問ヲ照ヒタイト思ヒ
マス、田村君

○田村委員 私人簡單ニ要點デケテ申
上ゲマス、昨日來「インフレ」問題ガ可
成リ論議サレテ居ルノデアリマスガ、
只今モ大藏大臣ハ「インフレ」ヲ防止ス
ルコトハ生産ノ増強ニアルト云フコト
ヲ御答辯ニナツタノデアリマスガ、私
モサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ
今日ノ物資生産ノ根拠ヲ成スモノハ、
昨日モ私ハ申シタノデアリマスガ、石

炭デアルト思フノデアリマス、所ガ今
當局ノ御答へニ依リマス、五十億或
ハ十億ノ硬貨ヲ拵ヘルノニ三千九百
「トン」ノ眞鍮資材ヲ要スルト云フ御答
辯デアリマシタガ、私ハ石炭ノ方面ニ
ハ色々關係ガアリマスノデ、石炭増産
ニ對シテ何ガ不足デアルカト云フコト
ハ、無論凡ニル部面ニ付テ資材ガ不足デ
アリマスガ、差當ツテサウシタ眞鍮資
材ガ多量ニ石炭増産ノ爲ニ必要デア
ル、ソレガナイ爲メ石炭増産ニ缺クベ
カラザル器具ヲ拵ヘルコトガ出來ナイ
ト云ツテ惱ムデ居ル狀態デアリマス、
無論勞働者ニ對スル増配トカ色々ノ間
題ガアリマスガ、サウシタ増産ニ必要
ナ重要資材ヲ何ヲ好シデ幾千九百「ト
ン」ヲ使ハシカテハナラヌカ、又三千
五百「トン」シテ現在割當ガナイ、アト
四百「トン」足リナイ、サスレバ尙且ツ
其ノ硬貨ヲ拵ヘル以上ニ效果ハ二國民
ノサウシタ生活ニユトリノ出來ルキヤ
ナ生産増強ニ優先ニユトリノ出來ルキ
論小額紙幣ガ國民ニ不自由ヲ感ゼシメ
テ居ルコトハ事實デアリ、ソレヨリカ
物ノ足りナイ方ノ苦シミガ先デアルト云
フコトヲ考ヘタ時、當局トシテハ、相
當ノ量ガアルト昨日言ハレタノデアリ
マスガ、商工省ノ方ノ調ベガ付カナイ
ノデ其ノ推定量ハ分ラナイト云ツテ居
ラレルガ、私ハ斯ウ云フ部面ニ付テモ
當局デ相當「インフレ」防止ニ對スル對
策ガアリトスルナラバ考ヘラルベキデ
ナカッタカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル

○荒船委員長代理 一ツ簡單ニ願ヒマス
○田村委員 其ノ點一ツ商工省方面ト
モ相當連絡ヲ取ツテ、優先的ニ廻シテ
實ヘル意思ガアルカドウカ

ソレト昨日モ、今日モ今井君ノ質
問ニ對シテ新圓ノ再封鎖ハ大藏大臣ハ

ヤラナイト云ツテ居ラレルノデアリマ
スガ、今日四百二十億ノ通貨ガ膨脹
シテ居ルト云フ點ニ於テ、金融業者方
面ニ對スル吸收ガ行ハレテナイト云フ
コトハ、昨日來大臣ガ申シテ居ラレル
通り、一部ニ偏在シテ居ッテ居ラレル
部廻轉シテ居ル體デアリ、私モ其ノ
點同感デアリマスガ、サウスレバ其ノ
金ヲ何故國民ガ今日銀行ニ預金ヲシナ
イノカト云フニ、政府ニ信用ガナイト
云フコトガ大きな原因デアルト思フ、
然ラバ此ノ退藏サレテ居ル所ノ通貨ヲ
銀行ニ吸收シヨウト思ヘバ、ソレヲ擔
當スル所ノ責任者ガ責任ヲ持ッテ國民
ニ約束シナケレバアラナイ、今マデ凡
ニ政府ガ國民ノ輿論ノ中ニ、今度ハ
封鎖スルデアラウト云フ噂、或ハ今度
ハドウ云フ風ニスルルコト云フ噂ガアルガ
ハドウ云フ風ニスルルコト云フ噂ヲ、政
府ハ屢々反對ノ言明ヲシテ居ラレタノ
デアリマスガ、其ノ否ノ根、乾カナイ裡
ミ、從來ノ政府ノ國民ガ噂シテ居ル通リ
總テ行ッテ居ル、隨テワレガ政府ヲ
信賴シナイ大キナ原因デアリ、其ノ點
大藏大臣ハ今度ハ責任ヲ持ッテ新圓ハ
封鎖シナイ、隨テ國民ハ今日凡ユル面
ニ於テ不祥事件ガ起キル、其ノ危難ヲ
免レル爲ニデモ、當然銀行アタリニ新
圓ヲ預金シナケレバアラナイ、國民モ
預金シヨウト思ッテ居ル、併シ預金ス
レバ政府ガ又ドウ云フ手ヲ打ツカ分ラ
ナイト云フノデ、國民ガ政府ヲ信用シ
ナイカラ預ケナイト云フ結論ニナルノ
デアリマスガ、其ノ點私ハ石橋大藏大臣
ガ此ノ際新圓ノ封鎖ハ斷ジシ行ハナイ、
若シ私ノ言明ヲ裏切ッテヤルヤウナコ
トガアルカラ、私ハ國民ニ對シテ眼ヲ
切ッテ申シタルト云フ所マデ大藏大
臣ガヤルナラバ、私ハ恐ラク相當ノ吸

收ガ出來ルト思フ、サウ云フ點ニ付テ
ハツキリシタ本當ニ國民ニ對シテオ約
束ガ出來ルカドウカ、其ノ點ヲ御尋ネ
シタイ

ソレト今日生産増強ノ痛ニナツテ居
ルハ勞働者、特に炭礦ノ勞働者諸君
ハ生活ノ脅威ト云フコトガヤハリ相當
原因シテ居ルト思フノデアリマス、隨
テ百圓ノ生活デヤツテ行ケナイ、無
論家族ニ對シテ幾分カノ何ハアリマス
ケレドモ、其ノ程度デハ——私モ炭礦
ノ勞働者デアリマスガ、地下デ働ク者
ハ唯働イテ、而シテ食ベルコトヲ主眼
ニシテ居ルノデアリマス、サウスレバ
五百圓ノ棒デハ私ハ當然ヤツテ行ケ
ナイと思フガ、此ノ點一ツ棒ヲ外ス御意
思ハナイカト云フ點ヲ御伺ヒシタイ
思フノデアリマス

○石橋國務大臣 御答へ申上ゲマス、
貨幣ニ使フ資材ヲ生産ニ廻セト云フ御
說ハ洵ニ有益ニ拜聴致シマシタ、併シ
是ハ事務當局カラ申上ゲタカト思ヒマ
スガ、商工省ノ割當ガアリマシテ、他
ノ生産資材ト競合シナイ様リデヤツテ
居リマス、ノミナラズ實ハ貨幣ノ信用
ヲ保ツト云フコトハ色々ノ操作ヲ必要
トスルノデアリマスガ、今マデ出シテ
居リマスヤウナ五十億紙幣ト云フヤウ
ナモノハ實ハ貨幣ニ對スル國民ノ信用
ヲ維持スルノ——形式デアリマスケ
レドモ、非常ニ宜クナイト私ハ思フノ
デアリマス、生産モ無論必要デアリマ
スカラ、是ハ何ヲ拵イテモヤリマス
ガ、ヤハリ貨幣ノ方モ、今度出シマス
硬貨ト云フモノモ、大シタ立派ナ硬貨
ニハナラナイカト思ヒマスガ、兎ニ角
硬貨ニ致シマシテ、サウシテ持ッテ居
デモ氣持ガ好イト云フコトニ一ツ致シ
タイト思フノデアリマス、其ノ點ノ

大臣ハ

氣持ヲ一ツ御諒承願ヒタイノデアリマス、ソレカラ政府ノ信用問題、是モ御言葉ノ通りテ重々申譯ナイ次第デアリマスガ、此ノ内閣ニ於テハ左様ナコトハ斷ジテナイ積リデアリマス、又今ノ新圓封鎖等ヲ致サスト云フコトヲ茲ニ申上デマシタコトハ、是ハ御言葉ノ通り、私ノ鐵腹宜シケレバ、腹ヲ切ツテモ確ニ茲ニ約束致シマス、唯區説ハ、金融問題ト云フモノハ論理的ニヤリマスト、大概見當ノツクモノデス、モウ一ツハ色々ナシ外關係ナドアリマシテ、實行スルマデニ時間ヲ思ヒノ外要ルト云フコトノ爲ニ色々ノ説ガ沸ク、ソレカラ、私共民間ニ居リマシテモ、論理的ニ考ヘバ、斯ウ云フ手ヲ今度政府ガ打ツダラウト云フコトハ大概見當ノツクモノデアリマスカラ、隨テ種々ナル風説ガ沸クノデアリマス、是ハ必ズシモ政府ニ責任バカリデモナイケレドモ、此ノ點モ併セテ御諒承願ヒタイ、併シナガラ左様ナ不安ノナイヤウニ無論致ス積リデアリマス

ソレカラ給與ノ問題デアリマスガ、是ハ前々申上デマスヤウニ、出來ルダケノ所作ヲ致シマシテ、早イ機會ニ所謂五百圓ノ枠ヲ外シタイト考ヘテ居リマス、唯給與ノコトハ、是ハ私ノ所管外カモ知レマセヌガ、確カニ今ノ生活ガ各方面テ非常ニ困ツテ居ルト云フコトハ認メマスガ、同時ニ炭礦ノ如キハ能率の力銀ニシテ欲シイト云フコトハ、餘計ナコトデアリマスガ、併セテ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○荒船委員長代理 松永君、簡單ニ……

○松永(義)委員 簡單ニ一點御伺ヒ致シマス、質問ノ趣旨ハ日本銀行ノ組織ノ民主化ト云フコトデアリマス、日本銀行法ニ依リマス、簡單ニ申上ゲレ

バ、銀行券ノ發行限度ニ關スル權限ハ主務大臣デアアル大藏大臣ニ存シテ居ルノデアリマス、而シテ戰爭中ニ於キマスル戰時經濟ノ誤マレル指導、サウシテ官僚大藏大臣ノ操作トガ今日ノ應ナル紙幣ノ發行ト、ソシテ國債ノ亂發ヲ見マシテ、國民ハ非常ニ生活苦ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ金融制度調査會デアリマス、或ハ又諸方面ニ於キマシテ、銀行券ノ發行ニ付キマシテハ宜シク日本銀行ノ方ヘ移シタラ宜イ、モウ少シ進シテ意見ハ、民間ニ於ケル私立銀行ヲシテ日本銀行ノ大株主タラシメテ、ソシテ私立銀行カラ代表者ヲ日本銀行ヘ送ツテ、金融措置ニ付キマシテ民主化ヲ圖ラウトスル意見ガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、併シ問題ハ、通貨ノコトニ付キマシテハ實ニ事業方面バカリデナク、國民生活ニ取ツテ重大ナ影響ヲ齎シテ居ルト云フコトハ、私ガ此處ニ喋々スルコトデモナイト思フノデアリマス、私共ハ平生ヨリ銀行ノ國營ヲ主張シテ居ルノデアリマスガ此ノ際少クモ日本銀行ニハ勸告階級ノ代表者ヲ幹部ノ中ニ送り込シテ戴キタイ、ソシテ勸告階級ノ立場ヲ認メタル通貨ノ發行ト云フコトニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、大藏大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマス、此ノ一點ニ付テデケ御答ヘ願ヒマス

○石橋國務大臣 御答ヘ申上デマス、發行限度ガ從來大藏大臣ノ認可ニナツテ居ツタコト云フコト、缺點ハ確カニ認メマス、是ハ實ハ前内閣ニ於テ金融制度調査會ヲ設ケマシテ、少クモ日本銀行制度ノ改革ダケハ今度ノ議會ニ出シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ラレタヤウデアリマスガ、色々ノ關係デッレガ今回

提出スルコトガ出來マセヌガ、是ハ成ベク早イ機會ニ改メテ金融制度調査會見タヤウナモノヲ設ケマシテ、日本銀行ノ制度ヲ初メ、凡ユル金融機關ノ制度ニ付テハ檢討ヲ致シタイト存シテ居リマス、其ノ場合ノ檢討ノ方ノ委員會ニハ、無論各方面ノ代表者ニ入ッテ戴キマシテ、十分民主化ノ趣意ニ從ツテ制度ガ立テラレルヤウニ致シタイト思ヒマス

尙ホ一ツ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、日本銀行ノ發券制度ニ付キマシテハ、ヤハリ我々ノ考ヘデモ、發券制度其ノモノニ付テモ何等カノ委員會、強力ナ委員會制度ヲ設ケマシテ、サウシテソレニ依ツテ決メルト云フコトニ致ス考ヘハ持ツテ居リマス、又日本銀行ノ株主ト云ヒマス、出資者ヲ民間金融機關等ニサセルト云フコトニ付キマシタモ、是ハ大體「アメリカ」ノ「フエデラル・レザーヴ・バンク」ノ組織デアリマスガ、之ヲ色々考ヘマシテ、私ナドハ日本銀行ノ制度ニ付テハ大正十年頃カラドウ云フ風ニ改革スルカト云フ研究ヲ實ハ續ケテ居ル者デアリマスガ、中々其ノ名案ハナイノデアリマシテ、結局、私共ノ案モ「フエデラル・レザーヴ・バンク」ノ「システム」ガ宜イノデハナイカト云フ結論ニ實ハナツテ居ルノデアリマス、是ハ資本ヲ民間銀行ニ持タセマスガ、民間銀行ガ資本ヲ持ツテ日本銀行カラ利益ヲ取ルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、民間銀行ノ義務トシテ資金ヲ出サセル、謂ハバ民間銀行ノ積立金ノ一部ヲ出資サセル、其ノ外ニ又民間銀行ノ預金ノ準備金ノ一部ヲ日本銀行ニ置カセルト云フヤウナ制度モ執ラレル譯デアリマスガ、兩々相俟ツテ實ハ民間銀行ニ義

務ヲ負ハセルヤウナコトニナツテ居ル譯デアリマス、併シ是ハ私ノ意見デアリ、又此ノ前ノ金融制度調査會デ大體左様ナ線ニ沿ウテ一ツノ試案ガ立テラレタ譯デアリマス、是ハ今後再檢討ヲ致シマシテ、各方面ノ方ノ御意見ヲ容レテ、十分民主化致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○松永(義)委員 甚ダ詳細ナ答ヘヲ得マシテ、能ク分ツタノデアリマスガ、此ノ委員會ノ組織デアリマスガ、是モ私ハ先達テ不思議ニ思ツタコトハ、煙草審議會ノ委員會デアリマス、何十億ト云フ大キナ増収ヲ圖ル、其ノ戦々ノ言フ消費稅ト申シマス、間接稅ト申シマス、ソレガ僅カ五分カ十分ノ間ニバタ／＼ト決ツタ、而モ郵便ノ値上ハ法律ニ依ツテ定マルガ、唯一片ノ命令ニ依ツテ斯ウシタヤウナコトガ定メラレルト云フコトハ非常ニ遺憾ナコトト私ハ存ジタノデアリマス、例ヘバ日本銀行ノ委員會ヲ設ケルニ付キマシテモ、其ノ指導監督ニ付キマシテ十分ナ權限ヲ持ツテ居ル所ノ委員會ヲ組織シテ戴カケレバ、本當ノ民衆ノ氣持ト云フモノハ反映シナイデハナイカト思フノデアリマス、議會ガ始終開カレテ、常置委員會デモアツテ、其處デ御調ヘ願フコト云フコトニデモナレバ結構デアリマスガ、若シサウデナケレバ強カ本委員會ヲ設ケテ、尙且サウシタ委員會ニ勸告階級ノ代表者ヲ是非共出シテ戴カケレバナラナイノデアリマス、此ノ點ニ付テ御答辯ガナイヤウデアリマシタ

○石橋國務大臣 其ノ點ハ御答ヘヲ漏ラシマシタガ、無論勸告階級ト申シマセウカ、勸告階級ト云フモノノ代表者ヲ何處カラ出スカト云フコトガ中々ム

ジカシイ問題カモ知レマセヌガ、無論サウ云フコトハ心得テ居リマスカラ、御諒承願ヒマス

○荒船委員長代理 他ニ御質疑ハアリマセヌカ 山田君

○山田(義)委員 簡單ニ一ツ御尋ネシタイノデアリマス、近頃流通シテ居リマス札ガ非常ニ印刷ガ不明瞭デアリマシテ、而モ印刷ノヒドイノニナルト、ドウカスルト半分位シカ印刷シテナイヤウナモノモ見受ケラレルヤウデアリマス、此ノ印刷ヲモウ少シ明瞭ナラシメルヤウナ方法ヲ考ヘテ戴キタイ此ノ點ヲ御考慮ヒタイ

第二ニハ札ニ對スル「デマ」ガ色々アルヤウデアリマス、其ノ「デマ」ノ主ナルモノヲ舉ゲ見マス、此ノ三、四月頃ニ、或ル特定ノ番號ハ賤モノデアルト云フ「デマ」ガ廣ク飛ビマシタ、是ハ地方銀行ニ行ツテ聽イテ見ルト、其ノ通りダト云フコトヲ答ヘタ銀行モアリマシテ、非常ナ恐慌ヲ來シテ、損ヲシタトカ、得ヲシタトカ云フヤウナコトガアツタヤウデアリマス、斯ウ云フ「デマ」ガ一體ドウ云フ譯デ出テ來ルカ、之ニハ何カ原因ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、尙又近頃出タ赤字番號ノ打ツテアル札ガアリマスガ、アノ赤字ノ番號ノナイモノガアル、是ハ「デマ」カ本當カ知リマセヌガ、サウ云フ噂ガ飛ビマシテ、而モ銀行ヘ持ツテ行ツタラ、ソレハナクテモ宜イト云フ回答ヲ受ケタ、斯ウ云フ話モ聞イテ居リマス、是等ハ通貨ノ信用ヲ非常ニ害スルト同時ニ、紙幣ノ流通ヲ混亂サセル大キナ原因トナルト思ヒマス、殊ニ近頃ノ札ヲ見テ居リマス、其ノ印刷ガ實ニ區々デアリマス、圖案ノ違フモノモアリマス、其ノ「イシキ」ノ色ガ違フ

テ居ルシ、又印刷ノ技巧ガ實ニ千差萬別デアリマス、目下ノ事情上已ムヲ得ナイカモ知レマセウガ、漸次産業ガ平和的ニ回復スルニ從ヒマシテ、是等ノ札ヲ出來ルダケ同ジモノニ一ツニシナケレバ、非常ニ不便デヤナカト思フノデアリマス、是等ニ對スル當局ノ御對策ガアルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタイト思ヒマス

尙ホ序デニ、多少ハ質問ガ外レルカモ知レマセウガ、サツキ物ノ増産ガ伴ハナケレバ物價ハ下ラヌ、是ハ普通ニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、然ラバ如何ニシテ増産ヲ圖ルカト云フコトニ對スル決定的ナ御意見ガ餘リナイヤウデアリマス、是非常ニ難カシイ問題デアルト思ヒマスガ、之ニハ凡ソ三ツバカリガ考ヘラレルノデハナイカ、其ノ一ツハ、強制的ニ勞働シ、強制的ニ資材ヲ集メル、權力ヲ以テ造ラセルト云フ方法デアリマス、或ハ又道德的ニドウシテモ之ヲ造ラナケレバナラナイト云フ、國民ノ中カラ沸上ル道義心ニ依ツテ増産ヲ遂行サセル方法デアリマス、或ハ其ノ二ツガ出來ナケレバ、其ノ生産ニ從事スル者ノ生産條件ヲ他ヨリモズツト好クシテヤル、或ハ又資本家ノ利潤ヲ他ノ事業ヨリモ好クシテヤルト云フコトニ依ツテ、重點産業ノ生産増加ガ出來ルノデヤナイカ、私ノ考フル所ニ依レバ、此ノ三ツノ方法デナケレバ重點産業ノ増産ハ難カシイノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ權力ヲ以テヤルコトハ無論出來マセヌ、又國民ノ道義心ニ憑ヘテ増産ヲ圖ルト云フコトモ、中々是ハ容易デハアリマセヌ、サウシマスナラバ、ドウシテモ其ノ生産從事者ノ生活條件ヲ好クシ

スル、又其ノ企業ノ利潤ヲ好クシテヤルト云フコトニ求メナクテハ出來ヌノデヤナイカ、若シソレヲヤルトスレバ、若干ノ「インフレ」ヲ犠牲ニシナケレバ出來ナイノデヤナイカ、コ、デ「インフレ」ヲ厭レテ居ツタノデハ、此ノ重點産業ノ増産ハ出來ヌデヤナイカト私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ多少ノ「インフレ」ヲ犠牲ニシテモ、先ヅ重點産業ヘノ生活條件ヲ好クシテヤル、其ノ生活條件ヲ好クシタルコトニ依ツテ増産ガ出來、又其ノ増産ヲヤラセルコトニ依ツテ多少ノ「インフレ」ガ參リマセウ、又其ノ上ニ生活條件ヲ好クシテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ議論ゴツコガ始マルカモ知レマセウ、併シ一般ノ物價ガ上ル前ニ先ヅシテ重點産業ノ生産ヲ増加スルコトニ依ツテ、之ヲ何カヤツテ居ル中ニ物價出廻ツテ來テ或ル程度マデ食止メルコトガ出來ルノデハナイカ、此處デ車ノ回轉ガ逆ニ廻ツテ來テ初メテ本當ノ全般的ナ増産ガ出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ通貨ノ面トハ直接關係ガアリマセウガ、若シソレニ對シテ適當ナ御考ヘガアツタラ御答ヘラ願ヒタイ、斯様ニ考ヘマス

○樺田政府委員 只今ノ御尋ネノ中ノ第一ト第二ト點ニ付テ私カラ先ニ御答ヘラ申上ゲマス

第一ノ印刷ガ極メテ不手際ニ出來デアリマスルコトハ、本當ニ御指摘ノ通りデアリマス、甚ダ恐縮ニ存ジテ居リマス、戰爭以來色々ナ惡條件ガ嵩ミマシタノデ、印刷局初メ非常ニ努力ハ致シテ居ルノデアリマスルケレドモ、資材トカ色々ナ關係等ガ重ナリ合ヒマシテ、極メテ不手際ナ、カスレテ見エ

ナカツタリ、千切レタリスルヤウナ銀行使ガアリマス、是ハ検査ノ時二十分ニ注意致シマシテ、流通ニ堪ヘナイヤウナ、銀行券トシテハ甚ダ不手際ノヤウナモノハ、ドンドン勿ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、何分ニモ相當ノ量ニ上リマスルノト、手間ノ關係等色々ナ關係カラ致シマシテ、ドウモダ時々皆樣ガ肩ヲオヒソメニナルヤウナ銀行券ガ市場ニ出テ參リマスルコトヲ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ私共印刷局初メイツモ用心ヲシテ居ル點デアリマシテ、段々ト色々ナ點ガ整ツテ參リマシタカラ、今後サウ云ツタヤウナモノガナクナツテ來ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ宜シイカト存ジテ居リマス、又斯ウ云ツタヤウナモノガ銀行ノ手許ニ展ツテ參リマシタヤウナ時ニハ、勿論直グニソレヲ焼却スル、斯ウ云フ風ナ手段ヲ執ツテ居リマシテ、二度ト市場ニハ出サナイヤウニヤツテ居ルコトハ勿論デゴザイマス、又銀行券ニ對シマシテ或ル特定番號ハ贋モノデアルトカ、色々ナ噂ガ飛ビマスル事實ヲ只今御指摘ニ相成ツタノデアリマスガ、若シ斯様ナモノガアリマシタルト是ハ大變ナ問題デアリマシテ、私共ト致シマシテハ斯様ナ「デマ」ノ根據ヲ能ク突留メマシテ、二度トサウ云フコトガ出來マセヌヤウニ、日本銀行券トシテ、又政府紙幣トシテ出シテ居リマスルモノハ、何處デモ是ハ本モノナノデゴザイマシテ、勿論或ル特定番號ハ贋モノデアルトカ、サウ云ツタヤウナコトハ全然ナイノデアリマス、勿論本當ノ偽造贋造デアリマス、是ハ別デゴザイマスガ、サウ云フモノガ大量ニ出テ居ルト云フコトハ何等ゴザイマセヌ、

幾ラ印刷ガ拙イト申シマシテモ、紙ノ點、或ハ其ノ他等カラシテ其ノ眞偽ヲ鑑別ハ容易ニナシ得ルヤウナ程度ニマデハ配慮シタルノデゴザイマスカラ、今後共サウ云フ「デマ」ガ假ニ起キマシタナラバ、即刻之ヲ抑ヘマシテ其ノ眞相ヲ摘發シテ、之ヲ防止スルコトニ今後共十分ニ努力ヲシタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○上塚政府委員 山田君ノ御質問ノ第三ノ點デアリマスルガ、多少「インフレ」レシヨ」ノ犠牲ヲ拂ツテモ生活條件ノ改善ニ努力シタラドウカト云フ御趣旨デアツタト思ヒマス、洵ニ御尤モニ存ジマス、現在ノ最大ノ要件ハ生産ヲ増強スルニアルノデアリマス、給料、賃銀等ハ物價ノ昂騰ニ比較致シマシテ比較的遅ク上ツテ居ルノデアリマス、最低生活ノ確保ヲ致ス爲ニハ給與ヲ上ゲテ行カクテハナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ方向ニ政府ハ今施策ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、勿論「インフレ」レシヨ」ヲ獎勵スルト云フヤウナ度ヲ越エタヤリ方ニ付テハ、嚴ニ慎ンデ居リマスケレドモ、最低生活ノ確保ノ程度マデニ進メタイト云フ意思ヲ以テ進メテ居ルノデアリマス

○松永(義)委員 午前中ハ是デ打切りマシテ、休養シテ午後一時半カラ質疑ヲ續行致シタイト存ジマス

○荒船委員長代理 只今ノ松永君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ボアリ〕

○荒船委員長代理 デハ午後一時半ヨリ再開致シマス、本法律案ヲ採決ヲ本日中ニ致シタイト思ヒマス、ドウカ御缺席ニナラヌヤウニ御願ヒ致シマス、是デ休憩致シマス

午後一時五十一分休憩

午後一時四十二分開議

○荒船委員長代理 ソレデハ開會致シマス

○坪井委員 今五十錢及ビ十錢ノ新シイ硬貨ガ發行セラレル譯ニナリマシタデスガ、何時マデニ是ガ全部放出サレルカ、今マデノ通貨ノ關係ハ一方ニ偏在シ易イ、封鎖ノ時ナドニモ五圓ハシナイト云フ所カラ五圓ヲ集メルトカ、或ハ又五十錢以下ノモノナラバ是モシナイト云フヤウナ關係カラ之ヲ集メルト云フヤウナコトカラ、策ヲ弄シテ偏在シ、ソレガ爲ニ國民ノ融通ニ非常ニ支障ヲ來シタ例モアル譯デアリマス、茲ニ之ヲ新シク造ラレト云フ場合ニ於テハ、國民ノコトハ政府モ非常ニ考ヘラレテ居ラレルノデアリマスカラ、慎重ヲ期シテ之ヲ成ベク早ク造リ、早ク放出スルコトニナルダラウト、思ヒマスガ、其ノ計畫ハドンナ工合デ、ドンナ工合ニ行ハレルノカト云フヤウナコトモ參考ニ御聽キ致シタイト存ジマス、尙又通貨全部ヲ通ジマシテ、各種別ニ一千圓トカ、二百圓トカ、百圓、二十圓、十圓、五圓、一圓、五十錢、十錢、一錢、是等ガドンナ工合ニ大略割振ラレテ居リマスガ、現ニ行ハレテ居ルカ、其ノ元締ヲヤツテ居ル所ガソレハ分リマセヌト云フヤウナコトドンナ工合ニ國民ニ期待ヲ持ツテヤツテ居ラレルモノカ分ラヌ譯デアリマス、先ノ一覽表デハ小額ノモノニ付テハ大體分ツテ居リマスガ、總體のニ見マシテ一體全部デドノ位ノ通貨ガアレバ先ヅ間ニ合フカ、總額發行高ト云フヤウナモノヲ一ツ參考マデニ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス、ソレモ種別ガ

分リマシタラバ大體御聽カセヲ願ツ

マス

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

トニナツテ居リマヘ、仰シヤイマス通

テ、賛意ヲ表シマス

○荒船委員長代理 坪井君

○坪井委員 協同民主黨ヲ代表致シマ

シテ、茲ニ提案サレマシタ臨時通貨法

ノ一部改正外一件ニ付キマシテ、賛成

スルモノデアリマス

○荒船委員長代理 松永君

○松永(義)委員 日本社會黨ヲ代表致

シマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○荒船委員長代理 伊藤君

○伊藤(恭)委員 新光俱樂部ヲ代表シ

テ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 和崎君

○和崎委員 無所屬俱樂部ヲ代表致シ

マシテ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 討論ハ全部終了致

シマシタ、仍テ是ヨリ採決ヲ致シマ

ス、原案ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒ

マス

(總員起立)

○荒船委員長代理 全員デゴザイマ

ス、仍テ本案ハ原案通り可決確定致シ

マシタ

以上ヲ以テマシテ本委員會ヲ終了致

シマス、洵ニ御苦勞様デシタ、是ニテ

散會致シマス

午後一時五十六分散會

○荒船委員長代理 一寸御諮リ致シマ

ス、二時マデニ政務次官ガ「マツカー

サー」司令部ニ出デニナルサウデス

カラ、次官ニ御尋ネノ方ガゴザイマシ

タラ二時マデニ御質問願ヒタイと思ヒ

マス

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

御質問ノ第一ノ點ハ今度新シク造リマ

ス五十錢、十錢ガ何日頃カドシナ工

合ニ出テ來ルカト云フコトデアリマス

ガ、此ノ法律ガ御協賛ヲ得マシテ通り

マシレバ即刻——今用意致シテ居ルコ

トデアリマスルノデ、新シイ五十錢ハ

恐ラク八月ハ出テ來ルノデハナイカ

ト存ジマス、今現ニ色々用意ヲ致シテ

居リマスルノデ其ノ後ズツ製造ヲ續

ケマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、

本年度ハ三億二千五百萬圓ヲ製造スル

豫定ニナツテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ第二ノ點ノ通貨ノ分布狀態、

種類別ニドシナ工合ニ發行サレテ居ル

カ、何處ニドシナ工合ニ、地方別或ハ

職業別等ニ互リマシテドシナ工合ニ持

ツテ居ルカト云フ點ハ、調査ガ甚ダ難

カシイノデ此處デ一寸申シ兼ネルノデ

アリマスガ、種類別ニ申上ゲマシタル

ト、大體「パーセント」デ申上ゲ

マス、日本銀行券、其ノ他補助貨

幣、小額貨幣等ヲ併セマシテ、全體ノ

約六割ト云フノガ百圓券ニ相成ツテ居

リマス、ソレカラ大體三割五分ガ十圓

券デアリマス、アトノ五割ガ五圓、一

圓、ソレカラ小額紙幣ト云ツタヤウナ

其ノ他ノ通貨デアル、最近、昨年ノ

暮アタリカラ大體此ノ割合ハ變ツテ居

リマセヌ、尙ホ一時千圓ノ大キナ札ヲ

出シタコトガゴザイマスガ、是ハ其ノ

後其ノ必要ヲ認メマセズ、又斯カル大

額ノ銀行券ヲ流通サセマスルコトハ、

色々ナ意味デ弊害ヲ伴ヒマスノデ、是

ハ銀行ノ手許ニ戻ツテ參リマスレバ、

之ヲ再ビ出シヤウナコトヲシナイト云

フ措置ヲ講ジテ居リマスカラ、現在デ

ハ殆ド市場ニ殘ツテ居ラナイヤウナコ

トニナツテ居リマヘ、仰シヤイマス通

リ、通貨ノ信用ヲ高メマスコトハ、全

ク今後ノ色々ナ點カラ申シマシテ、基

本的ナ問題ノ一ツデアラウト思ヒマシ

テ、今後トモ通貨ノ信用ヲ高メマス爲

ニハ、昨日來大臣カラモ色々申上ゲテ

居ル次第デゴザイマスガ、私共ト致シ

マシテモ、出來ル限リノ力ヲ盡シタ

イ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○坪井委員 今「パーセント」デ仰シ

ヤイマシタガ、ソレモ結構デアリマス

ガ、大體ノ總額ト云フモノハ御發表出

來ヌモノデゴザイマセウカ

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

五月末ノ數字デ少シ古ク相成リマス

ガ、其ノ當時ハ日本銀行券ガ三百六十

三億一千五百萬圓發行致サレテ居リマ

シタ、小額紙幣、是ガ九億九千九百萬

圓、補助貨ノ方ガ三億一千萬圓、合計

致シマシテ三百七十六億二千六百萬

圓、是ガ日本銀行券ノ小額紙幣、補助貨

全部ヲ合セマシテノ五月末ニ於キマス

ル流通高デゴザイマス

○荒船委員長代理 御質疑モ大體終了

致シタヤウデゴザイマスガ、マダ御意

見ガゴザイマセウカ

○荒船委員長代理 ナケレバ臨時通貨

法の一部を改正する法律案、軍人及び

軍属以外の者に交付された現金國庫債

券を無効とすることに關する法律案ヲ

議題ト致シマシテ討論ニ付シタイト存

ジマス——山田君

○山田(善)委員 私ハ自由黨ヲ代表致

シマシテ、御提出ノ二案ハ何レモ適當

ナリト認メマシテ原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 坪川君

○坪川委員 私ハ進歩黨ヲ代表致シマ

シテ、本二件ハ適當ナリト認メマシ

テ、賛意ヲ表シマス

○坪井委員 協同民主黨ヲ代表致シマ

シテ、茲ニ提案サレマシタ臨時通貨法

ノ一部改正外一件ニ付キマシテ、賛成

スルモノデアリマス

○荒船委員長代理 松永君

○松永(義)委員 日本社會黨ヲ代表致

シマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○荒船委員長代理 伊藤君

○伊藤(恭)委員 新光俱樂部ヲ代表シ

テ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 和崎君

○和崎委員 無所屬俱樂部ヲ代表致シ

マシテ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 討論ハ全部終了致

シマシタ、仍テ是ヨリ採決ヲ致シマ

ス、原案ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒ

マス

(總員起立)

○荒船委員長代理 全員デゴザイマ

ス、仍テ本案ハ原案通り可決確定致シ

マシタ

以上ヲ以テマシテ本委員會ヲ終了致

シマス、洵ニ御苦勞様デシタ、是ニテ

散會致シマス

午後一時五十六分散會

○荒船委員長代理 一寸御諮リ致シマ

ス、二時マデニ政務次官ガ「マツカー

サー」司令部ニ出デニナルサウデス

カラ、次官ニ御尋ネノ方ガゴザイマシ

タラ二時マデニ御質問願ヒタイと思ヒ

マス

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

御質問ノ第一ノ點ハ今度新シク造リマ

ス五十錢、十錢ガ何日頃カドシナ工

合ニ出テ來ルカト云フコトデアリマス

ガ、此ノ法律ガ御協賛ヲ得マシテ通り

マシレバ即刻——今用意致シテ居ルコ

トデアリマスルノデ、新シイ五十錢ハ

恐ラク八月ハ出テ來ルノデハナイカ

ト存ジマス、今現ニ色々用意ヲ致シテ

居リマスルノデ其ノ後ズツ製造ヲ續

ケマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、

本年度ハ三億二千五百萬圓ヲ製造スル

豫定ニナツテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ第二ノ點ノ通貨ノ分布狀態、

種類別ニドシナ工合ニ發行サレテ居ル

カ、何處ニドシナ工合ニ、地方別或ハ

職業別等ニ互リマシテドシナ工合ニ持

ツテ居ルカト云フ點ハ、調査ガ甚ダ難

カシイノデ此處デ一寸申シ兼ネルノデ

アリマスガ、種類別ニ申上ゲマシタル

ト、大體「パーセント」デ申上ゲ

マス、日本銀行券、其ノ他補助貨

幣、小額貨幣等ヲ併セマシテ、全體ノ

約六割ト云フノガ百圓券ニ相成ツテ居

リマス、ソレカラ大體三割五分ガ十圓

券デアリマス、アトノ五割ガ五圓、一

圓、ソレカラ小額紙幣ト云ツタヤウナ

其ノ他ノ通貨デアル、最近、昨年ノ

暮アタリカラ大體此ノ割合ハ變ツテ居

リマセヌ、尙ホ一時千圓ノ大キナ札ヲ

出シタコトガゴザイマスガ、是ハ其ノ

後其ノ必要ヲ認メマセズ、又斯カル大

額ノ銀行券ヲ流通サセマスルコトハ、

色々ナ意味デ弊害ヲ伴ヒマスノデ、是

ハ銀行ノ手許ニ戻ツテ參リマスレバ、

之ヲ再ビ出シヤウナコトヲシナイト云

フ措置ヲ講ジテ居リマスカラ、現在デ

ハ殆ド市場ニ殘ツテ居ラナイヤウナコ

トニナツテ居リマヘ、仰シヤイマス通

リ、通貨ノ信用ヲ高メマスコトハ、全

ク今後ノ色々ナ點カラ申シマシテ、基

本的ナ問題ノ一ツデアラウト思ヒマシ

テ、今後トモ通貨ノ信用ヲ高メマス爲

ニハ、昨日來大臣カラモ色々申上ゲテ

居ル次第デゴザイマスガ、私共ト致シ

マシテモ、出來ル限リノ力ヲ盡シタ

イ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○坪井委員 今「パーセント」デ仰シ

ヤイマシタガ、ソレモ結構デアリマス

ガ、大體ノ總額ト云フモノハ御發表出

來ヌモノデゴザイマセウカ

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

五月末ノ數字デ少シ古ク相成リマス

ガ、其ノ當時ハ日本銀行券ガ三百六十

三億一千五百萬圓發行致サレテ居リマ

シタ、小額紙幣、是ガ九億九千九百萬

圓、補助貨ノ方ガ三億一千萬圓、合計

致シマシテ三百七十六億二千六百萬

圓、是ガ日本銀行券ノ小額紙幣、補助貨

全部ヲ合セマシテノ五月末ニ於キマス

ル流通高デゴザイマス

○荒船委員長代理 御質疑モ大體終了

致シタヤウデゴザイマスガ、マダ御意

見ガゴザイマセウカ

○荒船委員長代理 ナケレバ臨時通貨

法の一部を改正する法律案、軍人及び

軍属以外の者に交付された現金國庫債

券を無効とすることに關する法律案ヲ

議題ト致シマシテ討論ニ付シタイト存

ジマス——山田君

○山田(善)委員 私ハ自由黨ヲ代表致

シマシテ、御提出ノ二案ハ何レモ適當

ナリト認メマシテ原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 坪川君

○坪川委員 私ハ進歩黨ヲ代表致シマ

シテ、本二件ハ適當ナリト認メマシ

テ、賛意ヲ表シマス

○坪井委員 協同民主黨ヲ代表致シマ

シテ、茲ニ提案サレマシタ臨時通貨法

ノ一部改正外一件ニ付キマシテ、賛成

スルモノデアリマス

○荒船委員長代理 松永君

○松永(義)委員 日本社會黨ヲ代表致

シマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○荒船委員長代理 伊藤君

○伊藤(恭)委員 新光俱樂部ヲ代表シ

テ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 和崎君

○和崎委員 無所屬俱樂部ヲ代表致シ

マシテ、原案ニ賛成致シマス

○荒船委員長代理 討論ハ全部終了致

シマシタ、仍テ是ヨリ採決ヲ致シマ

ス、原案ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒ

マス

(總員起立)

○荒船委員長代理 全員デゴザイマ

ス、仍テ本案ハ原案通り可決確定致シ

マシタ

以上ヲ以テマシテ本委員會ヲ終了致

シマス、洵ニ御苦勞様デシタ、是ニテ

散會致シマス

午後一時五十六分散會

○荒船委員長代理 一寸御諮リ致シマ

ス、二時マデニ政務次官ガ「マツカー

サー」司令部ニ出デニナルサウデス

カラ、次官ニ御尋ネノ方ガゴザイマシ

タラ二時マデニ御質問願ヒタイと思ヒ

マス

○樺田政府委員 御答へ申上ゲマス、

御質問ノ第一ノ點ハ今度新シク造リマ

ス五十錢、十錢ガ何日頃カドシナ工

合ニ出テ來ルカト云フコトデアリマス

ガ、此ノ法律ガ御協賛ヲ得マシテ通り

マシレバ即刻——今用意致シテ居ルコ

トデアリ

昭和二十一年七月二十四日印刷

昭和二十一年七月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局